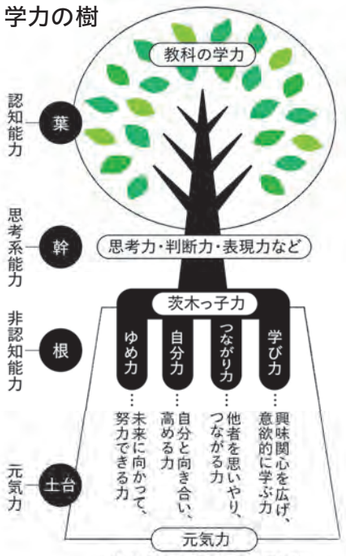
学 ぶなら 茨木

「一人も見捨てへん」先進の教育体制

茨木市は教育委員会と学校現場が一体となって、「一人も見捨てへん教育」の名のもと、子どもたちの学力はもちろん、学力を支える「内面の力（非認知能力）」の育成に取り組んでいます。これまでの10年以上の取組みで、小・中学校ともに学力高位層が増加しただけでなく、学力低位層も減少するなど、全国から注目を集めています。

学力の樹



学力向上を支える豊かな人間性・社会性の育成

めざすべき学力向上のイメージを「学力の樹」としています。茨木市では、学力を支える内面の力（非認知能力）を「茨木っ子力」と名付け、この茨木っ子力を伸ばすことで、自分なりの考え（思考系能力）を育み、教科の学力（認知能力）の向上につなげています。

茨木っ子力を育む新しいツール

「茨木っ子力」は自分自身で伸ばす力。子どもたちが、この力をどの場面で求められ、どう発揮できたのかを自身で内省し、「もっと伸ばしたい」と意識できるようにするため、「茨木っ子キャリアパスポート」と「いま未来手帳」を導入しました。

教育を支援するサポーター

力を注ぐ英語教育

年間を通じて、全小中学校に外国語指導講師（ＮＥＴ）を配置しています。また、複数のＮＥＴを招き、シャワーを浴びるように英語にふれる授業「英語シャワーデイ」を全市立小中学校で行うとともに、市立保育所、幼稚園、認定こども園でも「英語で遊ぼうデイ」を実施。外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ることができる能力の育成に力を注いでいます。

1人に1台タブレットを貸与 進むICT教育

子どもたちに1人1台タブレット端末を貸与し、一人ひとりの実態に応じた学習や子どもたち同士で教え学びあう学習、家庭でのデジタル教材を使った学習などに活用しています。

イメージ

児童生徒を個別に指導支援

児童・生徒の個別の教育的ニーズに応じた学習支援、生活支援等と読書活動を充実させる図書館支援を行うために、スクールサポーターを小・中学校に190人程度配置しています。

支援学級の子どもたちを支援

100人以上の介助員・医療介助員（看護師資格保有者）が支援学級在籍の子どもたちを支援（介助）しています。

臨床心理・社会福祉の専門家を学校に派遣

公認心理士等の資格を有するスクールカウンセラーが教育相談を行い、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーが福祉面の支援を行っています。

スクールカウンセラー

スクールソーシャルワーカー

放課後の安全安心な居場所に

放課後子ども教室

地域で子どもたちの安全安心な居場所をつくり、成長を育もうと、全市立小学校で学習、体験活動などを行っています。

学力向上の足跡を一冊に

「一人も見捨てへん」教育

「一人も見捨てへん」という共通理解のもと、茨木市が実践した学力向上の足跡を一冊にまとめました。この取組みが全国的に評価され、著書も注目を集めています。

志水 宏吉　編著
茨木市教育委員会 著
東洋館出版社

学 ぶなら 茨木

地域に開かれた学びの場が充実

茨木市には6つの大学（短期大学含む）があり、各大学ではそれぞれ特色ある教育と研究が行われています。これからも高等教育機関が充実している強みを活かし、大学と地域の連携を深めていきます。

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

平成27年（2015年）春に開設された立命館大学の新キャンパス。経営学部、政策科学部、総合心理学部、グローバル教養学部を設置し、約7,000人の学生が学んでいます。

立命館いばらきフューチャープラザ
市民が利用できるグランドホール、イベントホール、図書館などがあり、地域と大学との交流拠点として活用されています。

岩倉公園
キャンパスに隣接する市が設置した公園。防災公園の役割も備えています。

大学と地域の交流活動

いばらき×立命館DAY

AsiaWeek

「地域を愛し、地域に愛されるキャンパス」をめざし、大学の教育・研究に関わる取組みの紹介や、学生企画などのイベントを毎年開催。多くの市民が集まる場となっています。

藍野大学

医療保健学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科）、大学院看護学研究科を設置。チーム医療の一員としての医療のプロフェッショナルを育てます。

藍野大学短期大学部

茨木キャンパスでは、第一看護学科、専攻科（地域看護学専攻）を設置。患者に寄添い共感できる看護師、保健師の育成に力を入れています。

大阪行岡医療大学

行岡リハビリテーション専門学校から移行し、平成24年（2012年）4月に開学。地域や多職種連携に力を入れ、「協同」の建学精神に基づき、実践力に優れた理学療法士を育成、輩出しています。

追手門学院大学

昭和41年（1966年）に茨木市（安威）に開学。平成31年（2019年）には新たに総持寺キャンパスを開設しました。6学部（経済・経営・地域創造・社会・心理・国際教養）・3研究科を有し、約8,000人の学生が学ぶ文系総合大学であり、令和4年（2022年）4月には国際学部と文学部も新設。これからも「生涯にわたって学び続ける人材」の育成をめざしていきます。

大学と地域の交流活動

Candle Night

冬のキャンパスにぬくもりを演出したいと、平成22年（2010年）から毎年実施。テーマに沿ったオブジェやメッセージキャンドルなど4,000個のキャンドルで大学を彩り、毎回多くの地域住民が来場しています。

梅花女子大学

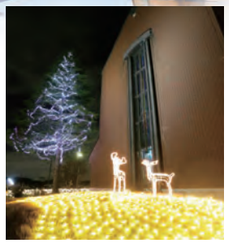
令和5年（2023年）で創立145周年の女子教育の伝統校です。4学部（文化表現・心理こども・食文化・看護保健）9学科があり、チャレンジ精神にあふれ、エレガントな女性の育成をめざしています。

大学と地域の交流活動

クリスマスイベント

毎年12月にはキャンパス内でクリスマスイベントを開催。音楽演奏やイルミネーションなどが市民からの人気を集めています。

梅花歌劇団「劇団この花」
学生がミュージカルを披露。



充実した蔵書数で市民に人気 茨木市立図書館

市内には5館8分室の図書館・分室があり、蔵書数、年間の図書購入費などが充実していて、電子書籍の貸出も行っています。

府内でも最大規模を誇る中央図書館では、静かなBGMも流れ、広々とした館内でゆったりとした時間を過ごせます。

元茨木川緑地で開催した「BOOK TRAVEL」では、緑の中で本を楽しむ市民の姿も。移動図書館も出動し、図書館のビッグイベントを盛り上げます。